

事故報告書（概要書）

第 2 報

2025 年 7 月 16 日

工事番号	23-1-0164		報告者	米谷 大輔		
部門、部署	建築本部	第一工事部	現場責任者名	池田 和樹		
現場名称	(仮称)大谷流レイクミストラルサイドホテル(50室)新築工事					
被害者情報	氏名		年齢	生年月日		
	[REDACTED] 氏		[REDACTED]	[REDACTED]		
現住所	[REDACTED]		職種	左官工	連絡先	[REDACTED]
勤務先 (所属会社)	会社名	株式会社音成		所在地	千葉県船橋市薬円台5丁目9番24号	
	TEL	047-465-9723		雇入年月日	満 年	[REDACTED]
契約関係	(一次) 株式会社音成		→(二次) 一人親方		→(三次)	
災害発生年月日時	2025 年 7 月 16 日		9 時 11 分		頃	
傷害名	脳内出血、骨折		傷害・部位	あばら骨 5本骨折		
病院名	四街道徳洲会病院		治療・休業・日数	休業日数		治療日数
災害発生の事実確認者	氏名	米谷 大輔		所属 会社	(株)音成	
災害発生の状況 (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)					
	日にち	時間軸	報告内容			
	16 日	9 : 12	4階バルコニー(401号室)に倒れていた被災者を現場巡視中の米谷が発見する。			
		9 : 12	被災者に声をかけたが、意識が朦朧としていた、2分程で意識が回復した。			
		9 : 12	池田所長に電話にて報告。			
		9 : 20	池田所長が現場到着。			
		9 : 20	救急に電話。			
		9 : 30	救急車が現場到着。歩行可能だった為、歩いて下まで降りる。			
		9 : 45	警察到着。			
		10 : 5	受入れ可能の病院が見つかった為、四街道徳洲会病院に向かう。			
		:				
		:	脳に出血が見られており、薬で押さえるため1週間程度入院し、経過観察とする			
		:	7月17日改めてMRI検査を行います。			
	:					
※特筆すべき事項を記載してください。						
発見時は意識が朦朧としていて、声をかけても返事がなかったが、2分程で起き上がり、返事する様になり、救急車を待っている間に回復はしてきたが、被災状況が自分でもわかっていなかった。						
処置 (連絡)	※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容					
	施主・顧客					
	設計、監理者					
	所轄労基署	東金労働基準監督署				
社 内	有田本部長、鎌田部長、中島部長、田中次長					
労災成立番号						

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。
(重大事故における被災者家族対応・マスコミ対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)

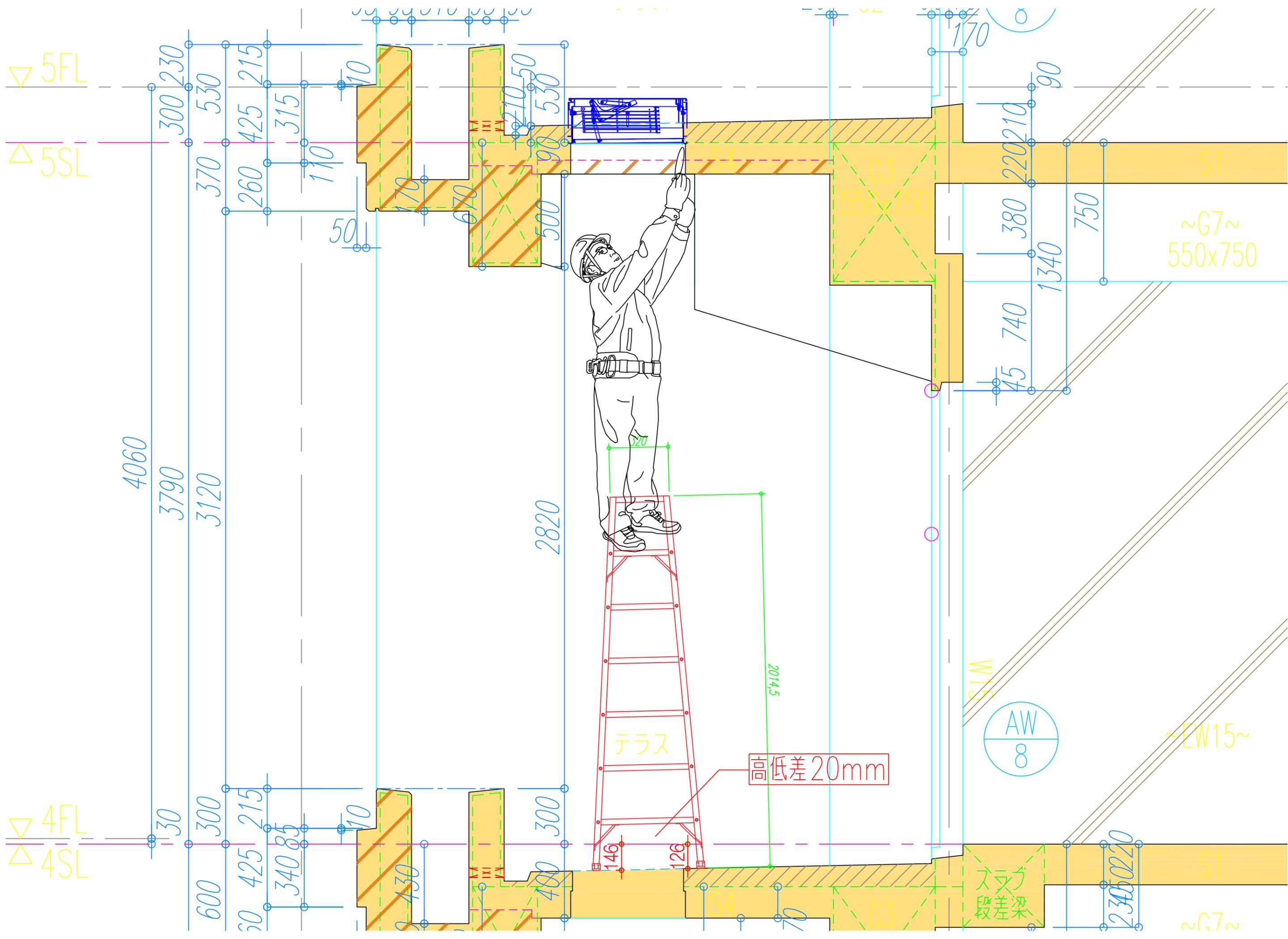
状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)



原因	脚立作業にて上を向いての作業だったので、バランスを崩して転倒してしまったと思われます。 (事故の際の記憶が無く本人からの証言は取れていません)
再発防止対策	当面の対応として、脚立は使用せず、立馬での作業とする。





被災時使用脚立



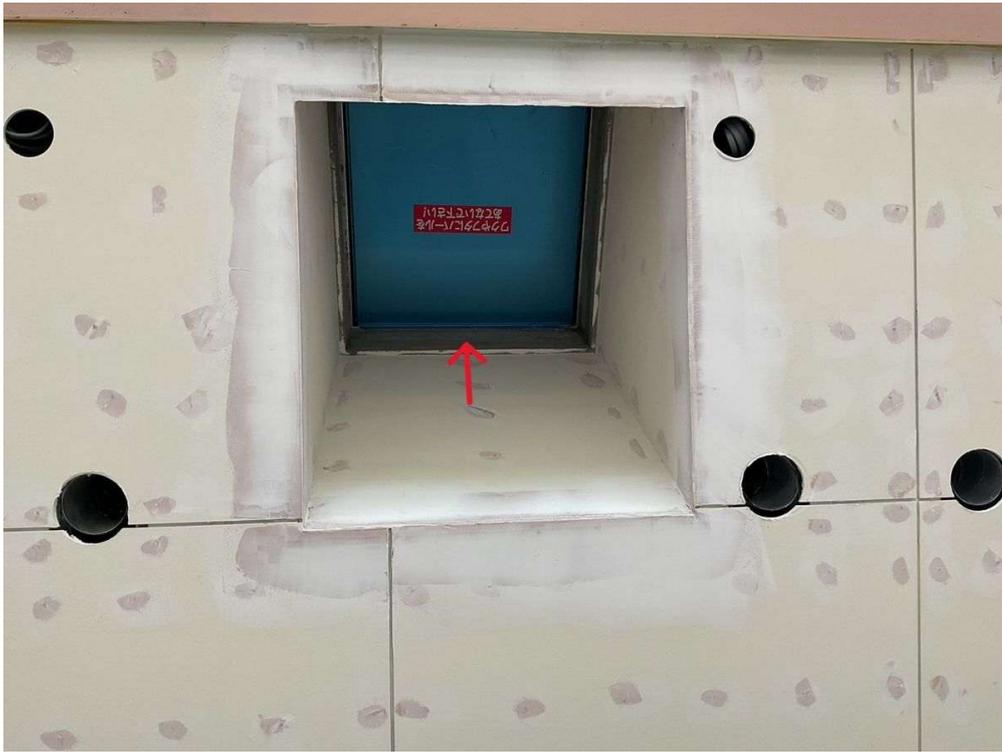
作業状況確認



作業状況確認



脚立使用状況確認
高低差20mm



避難ハッチ下左官補修



避難ハッチ下左官補修
